

---

プロジェクト	上場企業等が保有するベンチャーキャピタル（VC）ファンドの出資持分に係る会計上の取扱い
項目	第 523 回企業会計基準委員会で聞かれた意見

---

## 本資料の目的

1. 本資料は、第 523 回企業会計基準委員会（2024 年 4 月 2 日開催）において、本プロジェクトにおいて対象とする組合等の会計処理に関する再提案について聞かれた意見をまとめたものである。

## 聞かれた意見

2. 本プロジェクトにおいて対象とする組合等の構成資産である市場価格のない株式について、会計方針の選択として、時価評価（評価差額はその他の包括利益（OCI））するオプションを設けるとする事務局の提案に賛同する。

### （評価差額を OCI とすることに関する意見）

3. 時価の信頼性及び現行基準との内的整合性の観点から評価差額を OCI とすることがよいと考える。

### （オプションの適用単位に関する意見）

4. 開示（注記事項）と組み合わせにより細かい適用単位でオプションを認めることにより、作成者が当該オプションを利用しやすくなると考えられるため、開示と合わせて検討いただきたい。

### （その他）

5. 今後の審議次第であるが、当該オプションを適用した場合の組合等の構成資産である市場価格のない株式の減損判定及び関連する開示（注記事項）に関して、当該オプションを適用せず現行の会計処理を継続する企業にも影響が生じる場合には、丁寧な説明が必要であると考ええる。
6. 外国籍ファンドや投資事業有限責任組合が市場価格のない株式と市場価格のない株式以外の株式を保有している場合、当該組合等の財務諸表等ではこれらの評価差額を FVPL で

**審議事項(2)-4**

会計処理しているが、今回の事務局提案では、市場価格のない株式についてのみ取り出して OCI で会計処理することになると考えられる。当該会計処理に関するコストについて分析することが必要と考えられる。

7. 本プロジェクトの検討範囲において、対象とする組合等への出資全体を時価評価し、その他有価証券として取り扱うオプションを設けることを検討することが考えられる。

以 上